

質問回答書

千代田区観光協会プレスリリース活動業務

下記の事項について回答いたします。

質問 No 1	■千代田区のイメージについて 千代田区として定着させたいイメージを教えてください。
回答	特にごさいません。千代田区には、歴史性、中心性、先端性など様々な魅力があると考えており、特定のイメージを定着させる考えではありません。

質問 No 2	■目標について メディア露出獲得によって果たしたい目標を教えてください。 例：観光客の誘致、居住者の増加等
回答	国内外の観光客の誘致が主な目標です。また千代田区民に対しては、地域に誇りや愛着を持ってもらうことを目標とします。

質問 No 3	■本業務の成果目標について 1.業務の概要の(2)業務目的 に、「十分な成果に繋がっていない現状がある」と書かれていますが、本業務の成果における具体的な指標（KPI）がありましたらお知らせください
回答	新規事業のため目標値はございませんが、年間50件程度のリリース配信数は達成したいと考えます。また、リリース活動の基礎（協会が対象とするメディアの選定やリストアップ、メディア担当者とのコミュニケーション、リリース案の作成、多様な配信方法など）の習得については、本年における必達目標と考えています。次年度以降、本年をベースに、メディア掲載数や広告換算額など、具体的な目標値を定めていきたいと考えます。

質問 No 4	■ターゲット層について ターゲット層があれば教えてください。
回答	関東圏から訪れる週末来街者、国内旅行者、訪日外国人観光客、千代田区民（在住・在学・在勤）となります。

質問 No 5	■広報活動の主な対象について 要求水準説明書 1. (6)の主な対象のうち、特にアピールしたい対象はありますか？ 具体的な伺えるとありがたいです。
回答	地域団体、商店街等の催事・イベントについては、本業務の中心と考えます。な

	お、催事・イベントに限らず、商店や企業の魅力発信も重要と考えます。
--	-----------------------------------

質問 No 6	<p>■インバウンドについて</p> <p>今回の実施期間において、インバウンドに対するアピール・広報の重要度はどのようにお考えでしょうか。</p>
回答	通常であれば大事と考えますが、本年は新型コロナウイルスの影響で、国外の観光については厳しい状況が予想されるため、今年度は国内を中心と考えています。

質問 No 7	<p>■情報発信について</p> <p>国内外への情報発信と記載されておりますが、比率はどのように想定されてますでしょうか。</p>
回答	どちらも大事と考えますが、本年は新型コロナウイルスの影響で、国外の観光については厳しい状況が予想されるため、今年度は国内を中心と考えています。

質問 No 8	<p>■リリースの件数について</p> <p>「要求水準等説明書」中にリリース配信の分量について、記載がございませんでしたが、今年度のリリース作成・配信件数の目安についてお教えいただけますでしょうか。</p>
回答	年間 50 件以内を想定しています。

質問 No 9	<p>■過去のリリースについて</p> <p>以前に配信したリリースについて、内容を拝見できる資料、または WEB ページ等がありますでしょうか。もしあれば、資料のご提供または URL 等をお教えてください。</p>
回答	<p>下記、観光協会職員で作成したリリースで、区広報広聴課から配信したものの抜粋です。</p> <p>https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/kuse/koho/pressrelease/r2/r201/20200108.html</p> <p>https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/kuse/koho/pressrelease/h31/r107/r10724.html</p>

質問 No 10	<p>■今後のイベント計画等について</p> <p>新型コロナウイルス感染対策状況下で主催・共催イベントの実施可否や実施形態について、目下ご協議されている中かと存じます。実施ご判断状況及び通年計画の変動など、現状見えている範囲かつ差支えない範囲で構いませんので今後のスケジュールについてご教示いただけますと幸いです。</p> <p>効果的なプレスリリース計画を検討するにあたっては、今年度のイレギュラーな状況にも寄り添った内容を是非ご提案させていただきたく考えております。</p>
回答	<p>新型コロナウイルスの影響で、区内イベントについては開催ができない状況が続いており、本業務の計画についても、本年は柔軟に対応していく必要があります。</p> <p>弊協会主催・共催イベントについては延期を検討、秋口以降の開催を想定しており、地域主体の催事についても秋口まで中止・延期の情報が届いています。</p>

	このような状況を受けて、契約後から秋口以降までは、テイクアウト・デリバリー情報の発信により区内飲食店を支援する取り組みなど、発信内容を柔軟に切り替え業務を進めていきたいと考えます。
--	--

質問 No 11	<p>■重点施策について</p> <p>重点イベント、コンテンツなどがあれば教えてください。 また、中止が決定しているイベントがあれば教えてください。 (対象期間：2020年7月～2021年3月31日)</p>
回答	2020年10月下旬～11月上旬に神田神保町エリアで開催するイベントの総称「千代田の秋まつり」(各団体主催事業 / 開催未定)、2021年3月下旬～4月上旬に開催する「千代田のさくらまつり」(区・協会主催事業 / 開催未定)が重点となる催事になります。

質問 No 12	<p>■記事クリッピング報告について</p> <p>露出記事・番組モニター報告について リリース活動によって各メディアに露出された記事のクリッピング作業やTV番組のモニタリングも本業務の内容や予算に含むものでしょうか。</p>
回答	記事のクリッピング報告は、できる限り提出頂くことを想定します。

質問 No 13	<p>■研修について</p> <p>「② 協会職員へのプレスリリース活動に関する研修方法、協会独自のメディアリストの作成など、次年度以降、協会職員に本業務を移管するための、リリース活動の基盤整備・強化に関する提案を行うこと。」とありますが、研修の対象者は最低何人～最大何人ほどを想定されておりますでしょうか。 また、研修の回数について、想定回数はございますでしょうか。</p>
回答	研修を受ける職員は5名程度を想定しています。研修の頻度に関しては、特に想定していませんが、リリース活動の基礎(協会が対象とするメディアの選定やリストアップ、メディア担当者とのコミュニケーション、リリース案の作成、多様な配信方法など)を習得するために、必要な回数および研修方法をご提案ください。

質問 No 14	<p>■次年度以降の広報活動について</p> <p>活動後広報活動を移管されるご担当者様は何名になりますでしょうか。また、現時点での広報関係のご担当者様のスキルをご教示頂けませんでしょうか(メディアへの対応経験歴と、その内容)。</p>
回答	広報活動を行う担当者は5名程度になります。担当者のスキルについては、区広報広聴課課長を過去担当したものが1名、同課経験者が1名、その他職員には具体的な実績・経験がありません。

質問 No 15	<p>■企画提案書の作成様式について</p> <p>任意様式・書式自由とのことでしたが、提案書ページ数にも規定はないとの認識で相違ございませんでしょうか？</p>
回答	相違ございません。

質問 No 16	<p>■参加申込書（様式3-1）記載方法について</p> <p>「プレスリリース活動業務について」「リリース活動の基盤整備・強化業務について」上記2つに関して、記載する実績の違いについて教えてください。</p>
回答	前者は、クライアントから委託を請けリリース活動を行っている実績について、後者は、クライアント自身が自立したリリース活動を行うための「機能整備」や「教育・研修」などを行う業務の実績 となります。

質問 No 17	<p>■同種業務と類似業務の違いについて</p> <p>2.企画提案についての(2)-(ア)-③④について、同種業務と類似業務との違いはどのような点でしょうか。また、こちらに記載する実績は、行政様や地方公共団体様のものに限りませんか？</p>
回答	同種業務については、要求水準等説明書1-(5)に示している業務内容全てを満たしているもの、類似業務については、そのどれかを満たしているもの、またはそれに類似する業務を記載ください。なお、相手先は行政等に限りません。

質問 No 18	<p>■業務実施上の条件について</p> <p>主任担当者は本業務の統括責任者で、担当者は本業務遂行にあたるメインの担当者という理解でよろしいでしょうか。</p>
回答	主任担当者及び担当者は、本業務を実際に遂行する方を記載ください。

質問 No 19	<p>■広報活動の対象への提案について</p> <p>予定しているイベントや催事に限らず、効果的なPR活動という視点から、イベントや催事やコンテンツを、企画としてご提案することは可能でしょうか。もしくは、予定されているイベントや催事等のご予定に追加のご提案をする余地はありますでしょうか。</p>
回答	予算の範囲内で効果的な方法があれば提案可能です。